

参考資料

## 平成25年度当初予算案における主要な施策

部 局 名
農 林 部

# 新規事業及び重要事業総括表

## I 総 額

### 【一般会計】

区分	平成25年度	平成24年度	伸び率
予算総額	26,452,417千円	23,672,000千円	11.7%
一般会計構成比	1.6%	1.4%	—

### 【就農支援資金貸付事業特別会計】

予算総額	89,214千円	105,236千円	△15.2%
------	----------	-----------	--------

### 【林業・木材産業改善資金特別会計】

予算総額	39,060千円	39,085千円	△0.1%
------	----------	----------	-------

### 【本多静六博士育英事業特別会計】

予算総額	54,015千円	60,259千円	△10.4%
------	----------	----------	--------

## II 主な新規事業および重要施策

- 【埼玉農林業・農山村振興ビジョン施策体系】 —
- 1 「担い手・生産・販売」の三位一体的な推進による食料供給力の向上
    - (1) 意欲ある多様な担い手を育てる
    - (2) 優良農地を活用して最大限の生産を行う
    - (3) 農業経営の安定・発展に向けて支援する
    - (4) 食と農をつなぐ仕組みをつくる
    - (5) 食の安全・安心を確保する
  - 2 多様な森林の整備と森林の循環利用による森林・林業の再生
    - (1) 多様で健全な森林をつくる・まもる
    - (2) 森林を循環的に利用する
    - (3) 県産木材を使う・親しむ
  - 3 農山村の魅力向上・多面的機能の積極活用の促進
    - (1) 美しく活力ある農山村をつくる
    - (2) 農林業・農山村の多面的機能を学ぶ・使う・楽しむ

# 1 「担い手・生産・販売」の三位一体的な推進による食料供給力の向上

## (1) 意欲ある多様な担い手を育てる

		経営体育成条件整備事業【農業ビジネス支援課】	80, 243
		普及活動推進事業【農業支援課】	53, 501
P 1	新規	新技術導入広域推進事業【農業支援課】	15, 034
P 2		農業経営法人化推進事業【農業支援課】	19, 728
P 3	一部新	明日の農業担い手育成塾推進事業【農業支援課】	33, 124
		青年農業者等支援事業【農業支援課】	4, 752
P 4		新規就農総合支援事業【農業支援課】	339, 554
		農への就業スキルアップ緊急支援事業【農業支援課】	35, 202
P 5		農業大学校移転整備事業【農業支援課】	2, 552, 434
P 6		企業等農業参入支援事業【農業ビジネス支援課】	7, 308

## (2) 優良農地を活用して最大限の生産を行う

		農地活用促進事業【農業ビジネス支援課】	289, 639
		土地改良事業計画等調査【農村整備課】	53, 106
P 7		埼玉型ほ場整備推進事業【農村整備課】	12, 108
P 8		担い手を育む農地の整備【農村整備課】	846, 086
P 8		農業水利施設の整備【農村整備課】	1, 886, 133
		水田農業推進事業【生産振興課】	9, 120
		経営所得安定対策推進事業【生産振興課】	150, 000
		主穀作産地営農強化支援事業【生産振興課】	23, 711
		野菜、果樹、茶・地域特産物の振興【生産振興課】	10, 734
		埼玉野菜生産力強化支援事業【生産振興課】	140, 000
		おいしい埼玉野菜生産・販売対策事業【生産振興課】	5, 336
		畜政推進対策事業【畜産安全課】	15, 872
		飼料用米利用促進事業【畜産安全課】	2, 200
		秩父高原牧場機能強化緊急対策事業【畜産安全課】	52, 000
		水産業活性化対策事業【生産振興課】	16, 074

## (3) 農業経営の安定・発展に向けて支援する

		農業近代化資金等融通円滑化事業【農業支援課】	62, 937
		農作物災害緊急対策事業【農業支援課】	8, 481
		就農支援資金貸付事業【農業支援課】	50, 000
		野菜価格安定対策事業【生産振興課】	36, 969
		畜産物価格安定対策事業【畜産安全課】	9, 628
P 9		農林総合研究センター試験研究推進費【生産振興課】	122, 264
P10	一部新	水稻高温対策特別事業【生産振興課】	23, 470
		鶴ヶ島試験地移転整備事業【生産振興課】	44, 769
P11		埼玉農業エコひいき推進事業【農産物安全課】	7, 656
		見沼農業活性化対策事業【農業ビジネス支援課】	38, 144
		三富地域資源循環型農業システム振興対策事業【農業ビジネス支援課】	1, 000

(単位：千円)

中山間地域等ふるさと支援事業【農業ビジネス支援課】

46,801

(4) 食と農をつなぐ仕組みをつくる

	地産地消推進事業【農業ビジネス支援課】	2,647
	埼玉農商工連携推進事業【農業ビジネス支援課】	4,226
P12	一部新 農業の6次産業化の推進【農業支援課】	35,994
	地域拠点卸売市場整備促進事業【農業ビジネス支援課】	1,151
	埼玉ブランド農産物推進事業【農業ビジネス支援課】	9,434
P13	新規 埼玉農産物魅力アップ産地支援事業【農業ビジネス支援課】	5,400
P14	埼玉こだわりブランド育成支援事業【生産振興課】	12,574
	海外新規販路開拓事業【農業ビジネス支援課】	7,089
P15	一部新 花と緑で「えがおいっぱい」埼玉創造事業【生産振興課】	25,511
	狭山茶ブランドアップ推進事業【生産振興課】	2,100
	高品質畜産物生産体制整備事業【畜産安全課】	7,266

(5) 食の安全・安心を確保する

	安全安心農産物確保対策推進事業【農産物安全課】	8,303
P16	原発事故に係る農畜産物影響調査事業【農産物安全課】	55,990
	農薬安全対策事業【農産物安全課】	6,162
	口蹄疫等悪性伝染病防疫対策強化事業【畜産安全課】	4,770
	家畜伝染病予防法拡充強化対策事業【畜産安全課】	2,502
P17	新規 高速自動車道IC消毒ポイント整備事業【畜産安全課】	20,902
	JAS表示適正化推進事業【農産物安全課】	2,347
	食品表示不正防止対策事業【農産物安全課】	1,300

2 多様な森林の整備と森林の循環利用による森林・林業の再生

(1) 多様で健全な森林をつくる・まもる

	美しい森づくり事業【森づくり課】	96,046
	水源地域の森づくり事業【森づくり課】	473,000
P18	治山対策の推進【森づくり課】	497,450

(2) 森林を循環的に利用する

	森をまもる活動支援事業【森づくり課】	13,566
P18	森林管理道の整備【森づくり課】	638,158
P19	新規 森の若返りプロジェクト事業【森づくり課】	888
	森林の担い手育成対策事業【森づくり課】	90,764
	新たな林業担い手育成事業【森づくり課】	36,078

(3) 県産木材を使う・親しむ

	木育推進事業【森づくり課】	10,561
	森の再生・間伐材活用促進事業【森づくり課】	19,002

(単位：千円)

P20	森林整備加速化・林業再生事業【森づくり課】	704,495
	木のある生活空間づくり事業【森づくり課】	2,402

### 3 農山村の魅力向上・多面的機能の積極活用の促進

#### (1) 美しく活力ある農山村をつくる

	農との共生 田園都市豊かなくらし満喫事業【農業ビジネス支援課】	10,390
	山村等振興対策事業【農業ビジネス支援課】	3,038
	農地・水・環境保全の推進【農村整備課】	68,436
P21	農業集落排水の整備【農村整備課】	115,328
	有害動植物防除等体制整備促進事業【農業支援課】	10,072
	農山村バイオマス利活用促進事業【農業ビジネス支援課】	638
P22	新規 古くて新しい木のエネルギー活用事業【森づくり課】	1,500

#### (2) 農林業・農山村の多面的機能を学ぶ・使う・楽しむ

	彩の国グリーンツーリズム総合対策事業【農業ビジネス支援課】	1,539
P23	新規 みどりの学校ファームステップアップ支援事業【農業ビジネス支援課】	1,260
	みんなで育てる森づくり事業【森づくり課】	9,006
	里山・平地林再生事業【森づくり課】	258,172
P24	第37回全国育樹祭開催事業【全国育樹祭課】	314,918
P25	川の再生の推進【農村整備課】	766,850
	水と緑に親しむみち管理事業【農村整備課】	40,904
P26	水と緑のサイクリングロード事業【農村整備課】	107,000

# 新技術導入広域推進事業

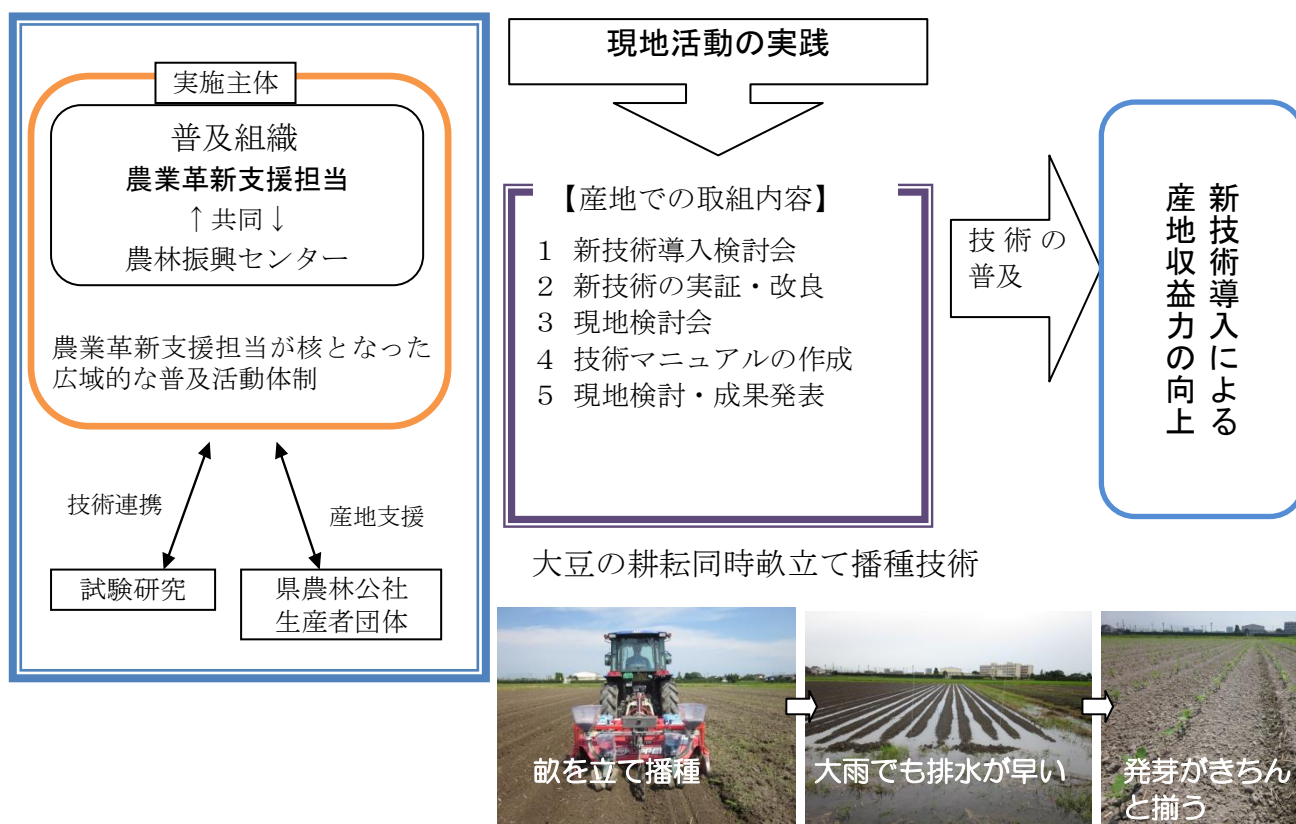
担当 農業支援課 農業革新支援担当  
内線 4055

## 1 目 的

産地の収益力向上のため、試験研究で開発した革新的な新技術について、地域にマッチした技術に組み立て現場で実証することにより、県域への迅速な普及・定着を図る。

## 2 事業内容

区 分	事業主体	内 容
新技術導入 広域推進事業	県	<p>新技術の組立実証、検討会の開催を行い、その技術を県域へ普及させる。</p> <p>【 導入する新技術 = 11 技術 】</p> <p>①大豆の耕耘同時畝立て播種技術 ②きゅうりのIPM技術 ③なしジョイント仕立て・早期成園化 ほか8技術</p>



3 平成25年度予算要求額

15,034千円

# 農業経営法人化推進事業

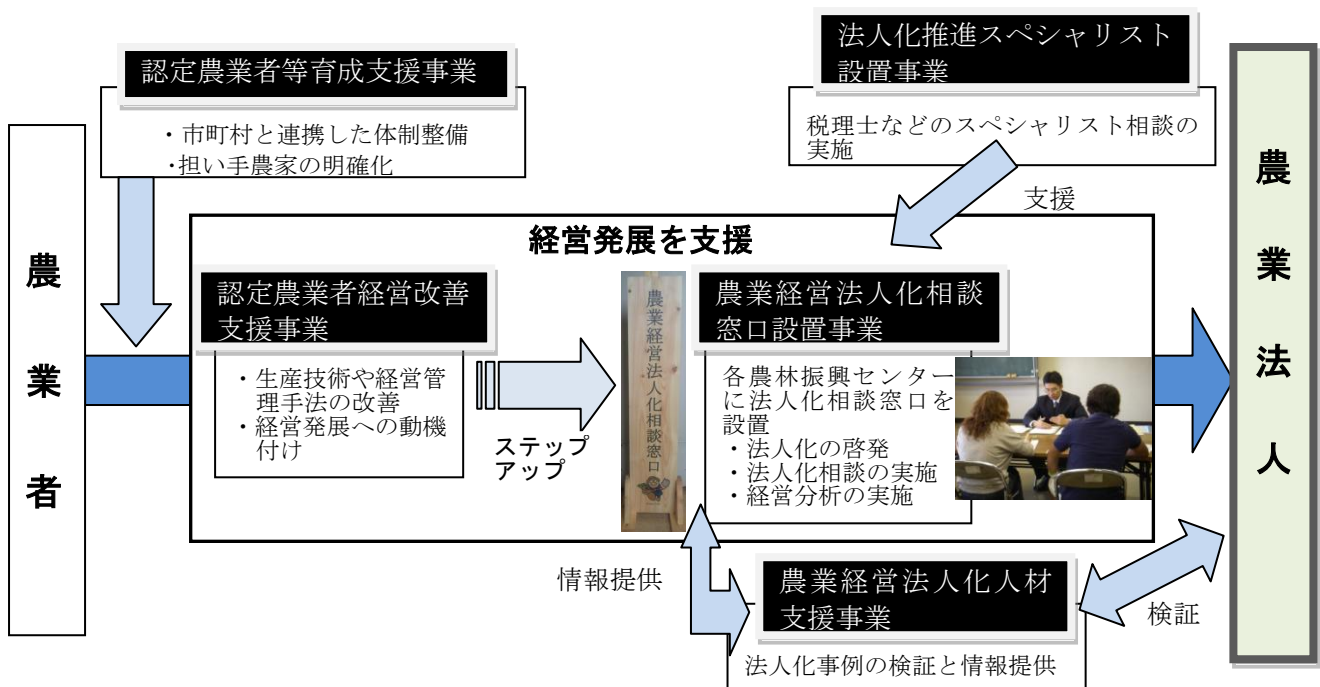
担当 農業支援課 経営体支援担当  
内線 4050

## 1 目的

地域農業の担い手である認定農業者などの経営発展に向けた取組を支援するとともに、各農林振興センターの法人化相談窓口にて税理士などのスペシャリストを設置し、農業経営の法人化を推進する。

## 2 事業内容

区分	事業主体	内容	予算額
(1) 認定農業者経営改善支援事業	県	認定農業者などに対し、生産技術や経営管理能力の向上に向けた支援を通して経営発展を促進	8,668 千円
(2) 認定農業者等育成支援事業	県	地域において育成すべき担い手を明確化し、認定農業者などの担い手を育成するための体制を整備	601 千円
(3) 農業経営法人化相談窓口設置事業	県	法人化を希望する認定農業者などに対して各農林振興センターに法人化相談窓口を設置し、相談活動を実施	2,300 千円
(4) 法人化推進スペシャリスト設置事業	県	法人化相談窓口にて税理士などのスペシャリストを設置し、法人化に向けた税務相談などを実施	4,920 千円
(5) 農業経営法人化人材支援事業	県	法人化により経営発展した事例の検証などを行い、農業者に対して情報提供を実施	3,239 千円



3 平成25年度予算額 19,728千円

## 明日の農業担い手育成塾推進事業

担当 農業支援課 就農支援担当  
内線 4051

### 1 目的

就農相談窓口の設置ほか、農業生産法人等での体験研修の実施や新規参入希望者・Uターン就農希望者を対象とした「明日の農業担い手育成塾」の設置運営の支援を通じ、新規就農希望者の円滑な就農を促進する。

### 2 事業内容

区分	事業主体	内容	予算額
(1) 就農相談窓口整備推進事業	県	関係機関が連携して就農相談窓口を設け、新規就農希望者に対する総合的な支援を実施	8,243千円
(2) 農業生産法人等体験支援事業	県	農業に興味がある者を対象に、農業生産法人等で農業体験研修を実施 法人等への見学 30人×2回 インターンシップ 15人	1,030千円
(3) 明日の農業担い手育成塾推進事業			23,851千円
ア 県推進事業	県	明日の農業担い手育成塾の設置・支援	314千円
イ 塾運営事業	市町村、農業委員会、農協等	事業実施に必要な体制の整備 16塾×3人 75人対象	20,537千円
新ウ ウィークエンド農業塾運営事業	市町村、農業委員会、農協等	事業実施に必要な体制の整備 3塾×15人 45人対象	3,000千円



### 3 平成25年度予算額

33,124千円



# 新規就農総合支援事業

担当 農業支援課 就農支援担当  
内線 4051

## 1 目的

埼玉農業を将来にわたって発展させていくためには、青年新規就農者を増やしていくことが不可欠である。

このため、青年等の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、就農前の研修期間（2年以内）及び就農直後（5年以内）の所得を確保する給付金を交付し、将来の埼玉農業を担う青年新規就農者を確保する。

## 2 事業内容

区分	事業主体	内容	予算額
(1) 県推進事業	県	給付金交付の体制整備	3,953千円
(2) 就農準備給付金事業	県	独立・自営就農を目指し県が指定した研修機関で研修を行っている者に給付金を交付 90人×150万円	135,000千円
(3) 市町村推進事業	市町村	給付金交付の体制整備 63市町村×327千円	20,601千円
(4) 営農開始給付金事業	市町村	経営が不安定な就農直後の独立・自営就農者に給付金を交付 120人×150万円	180,000千円

### 就農準備給付金事業

**農業技術の研修中に給付金を給付します。**

**【給付額】 150万円/年（最長2年間）**

農業大学校や県が指定する地域指導農家等で研修を受ける方で、以下の要件を全て満たす方

- ① 就農予定時の年齢が45歳未満の方
- ② 県が認める研修機関等で概ね1年以上研修する方
- ③ 研修終了後1年以内に就農する方
- ④ 自ら農業経営又は農業法人に雇用されて就農する方



### 営農開始給付金事業

**農業を始めて間もない時期に給付金を給付します。**

**【給付額】 150万円/年（最長5年間）**

農業を始めてから経営が安定するまでの方で、以下の要件を全て満たす方

- ① 原則として45歳未満で独立・自営就農する方
- ② 就農する市町村の「人・農地プラン」に位置付けられている方（見込みも可）
- ③ 就農後の所得（本給付金以外）が250万円未満の方

※ 農家子弟の方でも、  
ア 親とは別の経営をする場合  
イ 親の経営から部門を独立させる場合  
ウ 親元に就農してから5年以内に親から経営を継承する場合は給付対象となります。

3 平成25年度予算額

339,554千円

# 農業大学校移転整備事業

担当 農業支援課 農業大学校担当  
内線 4052

## 1 目的

農業大学校を現在の鶴ヶ島市から県北の熊谷市へ移転整備する。併せて、関係機関との相互協力のもと、埼玉農業の担い手養成拠点施設として今以上に魅力ある農業大学校として整備する。

## 2 事業内容

区分	事業主体	内容	予算額
(1) 監督業務等事務費	県	・ 建築及び土木工事の監督・検査などの事務費 ・ 外部検討委員会開催費	5,172 千円
(2) 測量試験・補償費			91,533 千円
ア 継続事業	県	・ 建築工事監理業務委託費	42,521 千円
イ 単年事業	県	・ 土木工事監理業務委託費 ・ 建築・土木実施設計業務委託費 ・ オオタカモニタリング調査業務委託費	49,012 千円
(3) 工事関係費			2,455,729 千円
ア 継続事業	県	・ 土木工事(道排水路整備、ほ場整備、防火水槽設備等) ・ 建築工事[実習作業棟他](建築、設備、電気)	2,442,000 千円
イ 単年事業	県	・ 旧施設解体工事 ・ 構造計算適合判定等手数料	13,729 千円

## スケジュール(予定)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
ソフト	立地調査	基本的な考え方検討・整理	教育カリキュラム等検討	教育カリキュラム等協議・調整	条例改正	移転開校準備 学生募集	平成27年4月開校
用地		地質調査・測量	用地確保に向けた調整 開発許可等各種手続き	用地取得			
土木		土木工事基本設計	土木工事実施設計	建築関係土木工事	その他土木工事	ほ場土づくり	
建物		建物建築基本設計	建物建築実施設計		建築工事	ハウス工事	
オオタカ			オオタカ生態調査(2営業期間)		保護対策協議・調整 対策効果検証		

3 平成25年度予算額 2,552,434千円

# 企業等農業参入支援事業

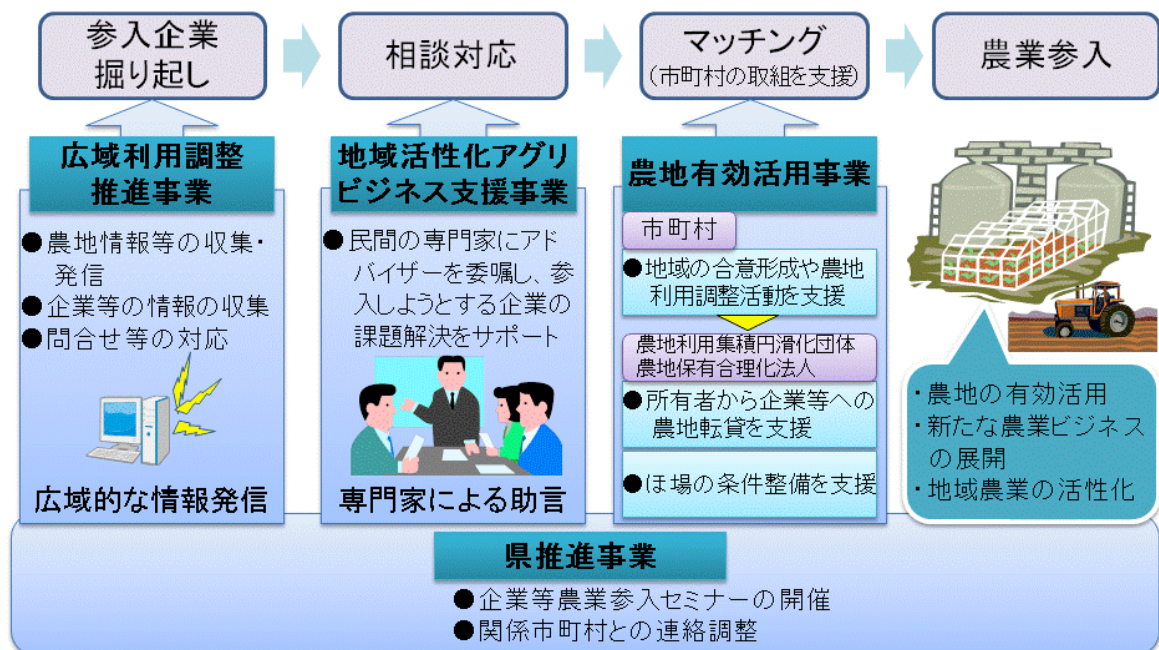
担当 農業ビジネス支援課 農地活用・企業参入支援担当  
内線 4120

## 1 目的

地域農業との調和を図りながら企業等の農業参入を推進することにより、農地の有効活用を促進するとともに、新たな農業ビジネスの展開を図る。

## 2 事業内容

区分	事業主体	内容	予算額
(1) 広域利用調整推進事業	県	○農地情報収集、ネットワークの充実 ○広域的な農地情報等の発信 ○相談窓口対応	1,021 千円
(2) 農地有効活用事業			4,050 千円
ア 地域推進費 (定額補助)	市町村 農業委員会	○受入地域の意向確認、合意形成 ○地域における農地の利用調整 ○地域と企業等とのマッチング	1,500 千円
イ 農地集積推進費 (定額補助)	農地利用集積 円滑化団体 農地保有合理化法人	○農地貸借に関する相談対応、調整、事前調査等 ○所有者から企業等への農地転貸	1,200 千円
ウ ほ場条件整備推進費 (定額補助)	農地利用集積 円滑化団体 農地保有合理化法人	○畦畔除去、測量、耕作放棄地の簡易再生等ほ場の条件整備	1,350 千円
(3) 地域活性化アグリビジネス支援事業	県	○個別の相談に対するアドバイザーの派遣 ○相談会の開催 ○アグリビジネスの提案を行うための検討会の開催	811 千円
(4) 県推進事業	県	○企業等農業参入セミナーの開催 ○関係市町村との連絡調整	1,426 千円



3 平成25年度予算額

7,308千円

# 埼玉型ほ場整備推進事業

担当 農村整備課 企画担当

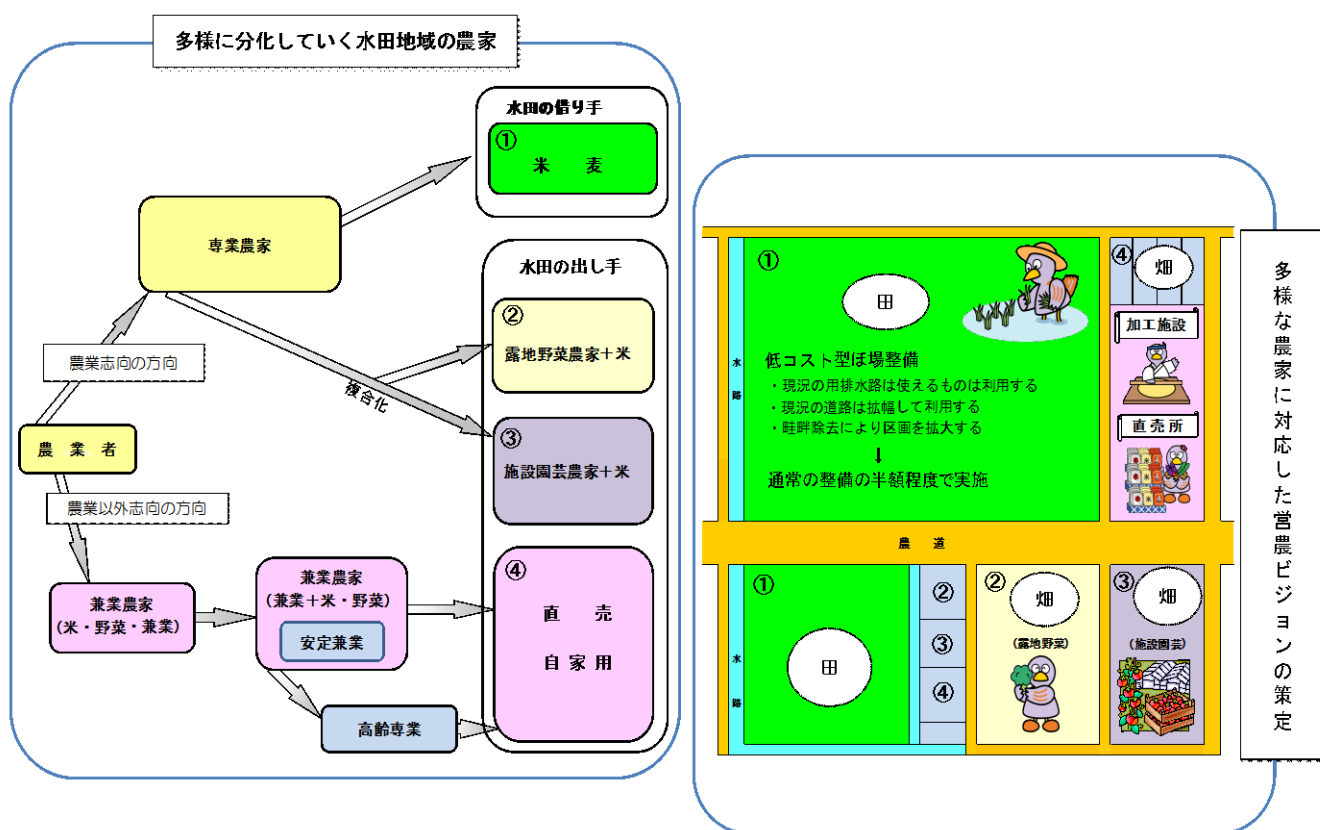
内線 4345

## 1 目的

水田農業において、企業的経営を行うためには農地の集積と大区画化が不可欠である。このため、10アール区画の水田を対象に、農家の意向を踏まえた地域営農ビジョンを策定し、低コストで事業期間の短縮が可能となるほ場整備を推進する。

## 2 事業内容

区分	事業主体	内容	予算額
(1) 構造改革促進調査	県	地域農業の構造改革を推進するために必要な実態調査、地域の意向や課題の分析を行い、地域営農ビジョンを策定する。さらに、地域の合意形成や推進活動を行う。	9,301千円
(2) 土地改良施設診断調査	県	現状の農道や用排水路を活かした低コストな整備を実現するため、施設の診断調査を行う。	2,807千円



3 平成25年度予算額

12,108千円

# 農業生産基盤の整備

担当 農村整備課 低コスト農地整備担当、水利施設整備担当  
 内線 4351 (低コスト農地整備担当)、4347 (水利施設整備担当)

## 1 担い手を育む農地の整備

### (1) 目的

農地の大区画化や用排水路・農道等の整備により、農業生産性の向上と営農条件の改善を図るとともに、農地の利用調整による経営規模の拡大を進め、高収益を目指す農業経営体の育成を促進する。

### (2) 事業内容

区分	事業主体	内容	予算額
ア ほ場整備事業	県	農地の区画拡大と道路、用水路、排水路等の一体的な整備 【6地区】	619,410千円
イ 農道整備事業	県	農道の老朽化状況調査及び保全対策 【3地区】	141,200千円
ウ 中山間総合整備事業等	県・市町村 土地改良区	小規模な区域での農地、農道の整備等 【7地区】	85,476千円

#### 【担い手を育む農地の整備】



(整備前)



(整備後)

(3) 平成25年度予算額 846,086千円

## 2 農業水利施設の整備

### (1) 目的

用水路や排水路等の農業水利施設を整備し、用水不足や排水不良による農作物被害の解消や自然災害を防止し、農産物の安定供給と地域の安全性向上を図る。

### (2) 事業内容

区分	事業主体	内容	予算額
ア かんがい排水事業	県	農業水利施設（用水路、排水路、排水機場）等の整備及び補修 【11地区】	572,620千円
イ 農地防災事業	県	排水路の改修、排水機場等の整備 【10地区】	1,227,080千円
ウ 団体営基盤整備促進事業	市町村 土地改良区	小規模な区域での用水路、排水路等の整備支援 【39地区】	86,433千円

(3) 平成25年度予算額 1,886,133千円

# 農林総合研究センター試験研究推進費

担当 生産振興課 総務・企画・試験研究調整担当  
内線 4082

## 1 目的

埼玉農業の競争力を強化するため、安全で安心できる農産物の生産技術、新品種の育成や優良種苗の大量増殖技術、高収益・高付加価値化技術などについて研究開発を行うとともに、効率的・機動的な研究実施体制に向けた検討を行う。

## 2 事業内容

### (1) 農林総合研究センター試験研究費 116,809千円

区分	事業主体	内容	予算額
I 安全・安心な農産物生産技術の開発	県	・ 生産段階から安全性を確保するための技術の開発	14,691千円
II 本県オリジナル品種の育成と栽培管理技術の開発	県	・ 品種育成や新品目の導入とこれを支える栽培管理技術の開発	28,307千円
III 低コスト・省力生産技術の開発	県	・ 省力化・快適化低コスト生産技術や高品質・安定生産技術の開発	19,927千円
IV 環境に調和した生産技術の開発進	県	・ 化学肥料・農薬の削減など、環境と調和の取れた生産技術の開発	6,979千円
V 調査研究	県	・ 県民の多様なニーズに応える各種の調査・研究等	46,905千円



残留農業分析システムの構築 ブランド黒豚贈殖方法の開発 芳香シクラメンのシリーズ化 樹体ジョイント栽培技術開発

### (2) 農林総合研究センター体制整備事業 5,455千円

効率的・機動的な研究実施体制とするために必要な施設、機器類の整備に係る検討を行う。

## 3 平成25年度予算額

122,264千円

## 水稻高温対策特別事業

担当 生産振興課 主穀担当  
内線 4144

### 1 目的

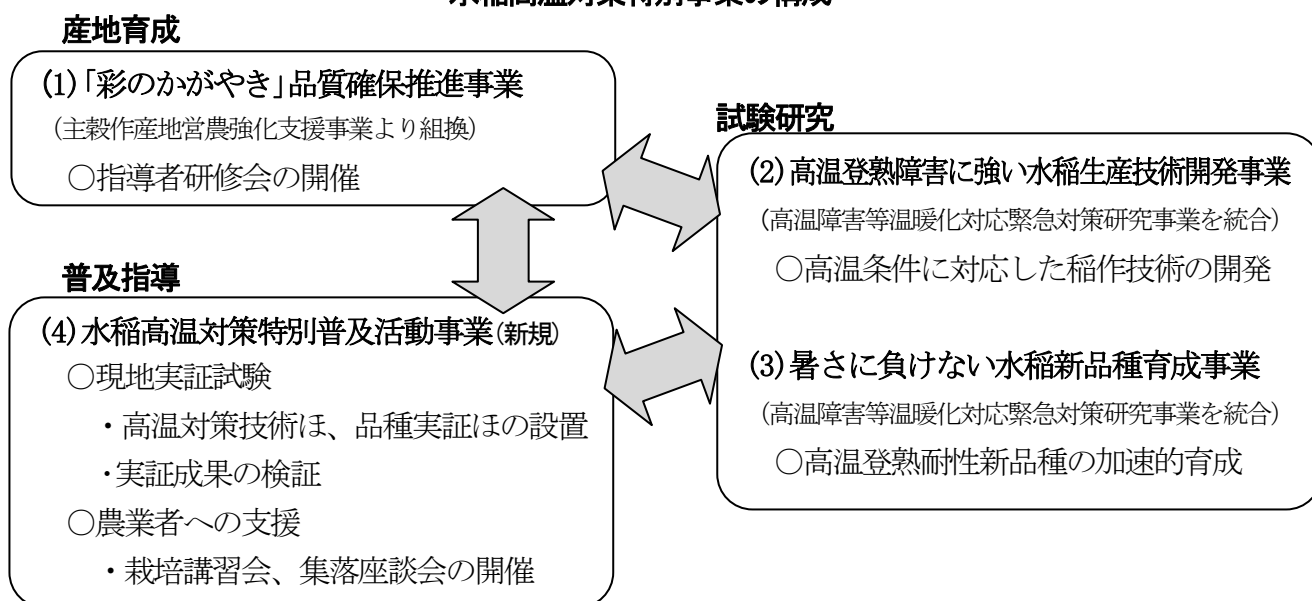
水稻生育期間の高温化傾向が顕著になっており、白未熟粒等の多発による品質低下が大きな問題となっている。

そこで、新品種の育成から関係機関との連携による品質向上対策、生産現場における技術対策の普及指導までの総合的な対策を実施する。

### 2 事業内容

区 分	事業主体	内 容	予 算 額
(1) 「彩のかがやき」品質確保推進事業	県	指導機関を対象とした研修会を実施するとともに、高温対策を中心とした栽培管理資料を作成・配布する。	320 冊
(2) 高温登熟障害に強い水稻生産技術開発事業	県	恒常化する高温条件に対応した稲作技術及び高温時の応急処置方法を開発する。	13,086 冊
(3) 暑さに負けない水稻新品種育成事業	県	「彩のかがやき」準同質遺伝子系統など高温登熟耐性新品種を育成する。	7,564 冊
<b>新</b> (4) 水稻高温対策特別普及活動事業	県	高温対策技術の実証、品種・作期の変更等の現地実証試験を実施し、効果の確認を行うとともに、講習会等により技術対策を周知する。	2,500 冊

### 水稻高温対策特別事業の構成



3 平成25年度予算額 23,470千円

# 埼玉農業エコひいき推進事業

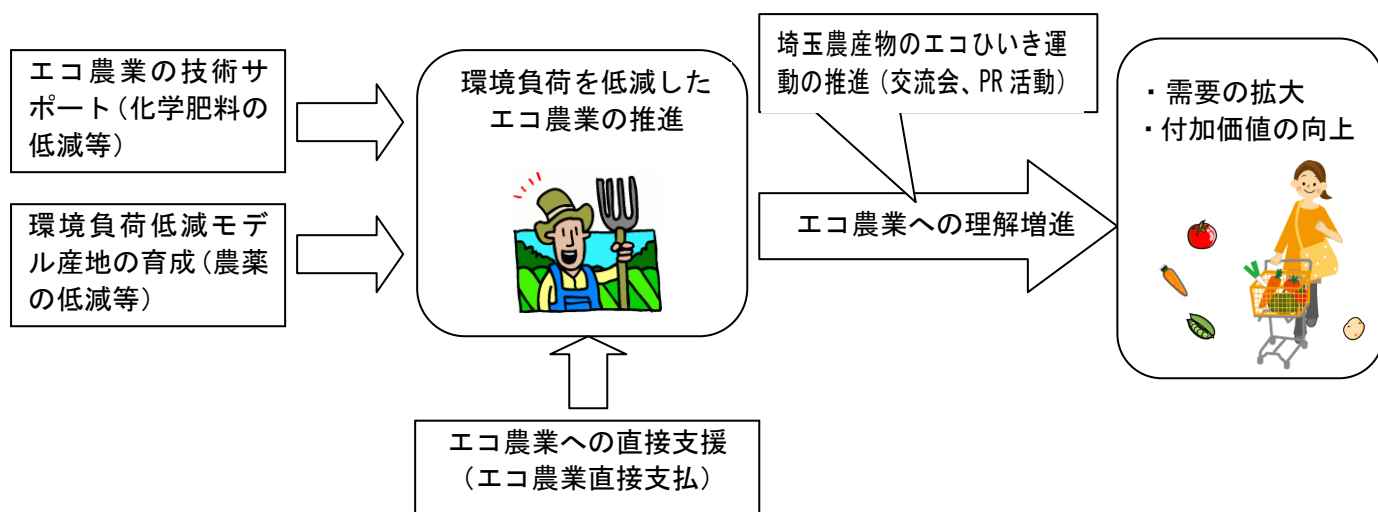
担当 農産物安全課 有機・安全生産担当  
内線 4049

## 1 目的

農薬・化学肥料の削減や地球温暖化防止等に効果の高い「エコ」農業に取り組む産地を育成し、農業による環境負荷の軽減を図るとともに、消費者等の環境保全型農業への理解を増進し、「エコ」農産物を「ひいき」にしてもらうことにより需要拡大や高付加価値化を図る。

## 2 事業内容

区分	事業主体	内容	予算額
(1) エコ農業の推進			1,976千円
ア エコ農業の技術サポート	県	温暖化防止等に効果の高い農業技術の導入推進や講習会等の開催等	764千円
イ 環境負荷低減モデル産地の育成	農協、生産者集団等	各種防除技術を総合的に組み合わせる総合的病害虫・雑草管理（IPM）により、農薬の削減に取り組むモデル産地の育成	250千円
ウ 埼玉農産物のエコひいき運動の推進	県	環境負荷低減の取組や環境にやさしい農産物のPR活動、産地や農産物のイメージアップ等を図るための交流会の開催	962千円
(2) エコ農業への直接支援			5,680千円
ア エコ農業直接支払	市町村	地球温暖化防止等に効果の高い生産技術や有機農業等に取り組む生産者に対する支援金の交付	4,380千円
イ エコ農業直接支払推進事務	県市町村	アの事業実施に必要な事務費	1,300千円



## 3 平成25年度予算額

7,656千円



## 農業の6次産業化の推進

担当 農業支援課 普及活動担当  
内線 4047

### 1 6次産業化ネットワーク活動推進事業

#### (1) 目的

農業者が主体的に関わる農業の6次産業化の更なる推進のため、農業者、消費者、加工製造サービス業者、流通業者等の人々とのネットワークを構築し、新商品開発、既存商品のブラッシュアップや販路の新展開を図る。

#### (2) 事業内容

区分	事業主体	内容	予算額
新 (1) 6次産業化研究会事業	県	農業者、消費者、加工製造サービス業者、流通業者等からなる研究会を設置し、商品開発・販売戦略の検討等を実施	4,116千円
(2) 6次産業化支援事業	県	農林振興センターの普及指導員が技術指導や講習会等を実施	2,276千円

### 2 構造改革特区活用型「6次産業埼玉モデル」育成事業

#### (1) 目的

構造改革特区により民間から採用した普及指導員（中小企業診断士・管理栄養士各1名）を活用して、農業者等が核となった地域ぐるみの6次産業化を推進し、地域全体の収益向上につながる6次産業化モデルを育成する。

#### (2) 事業内容

区分	事業主体	内容	予算額
(1) 地域6次産業化補助事業	農業者等	商品開発、販路開拓、経営の多角化に必要な施設整備等の支援	8,000千円
(2) 地域6次産業化推進事業	県	特区により採用した普及指導員が農業者等を支援	392千円

### 3 6次産業化PR支援事業

農業の6次産業化の取組により開発された商品について、オンラインや物産観光展でのPR活動等により販路の拡大を図り、農業の6次産業化を推進する。

### 4 平成25年度予算総額 35,994千円

## 埼玉農産物魅力アップ産地支援事業

担当 農業ビジネス支援課 販売対策・農商工連携担当  
内線 4107

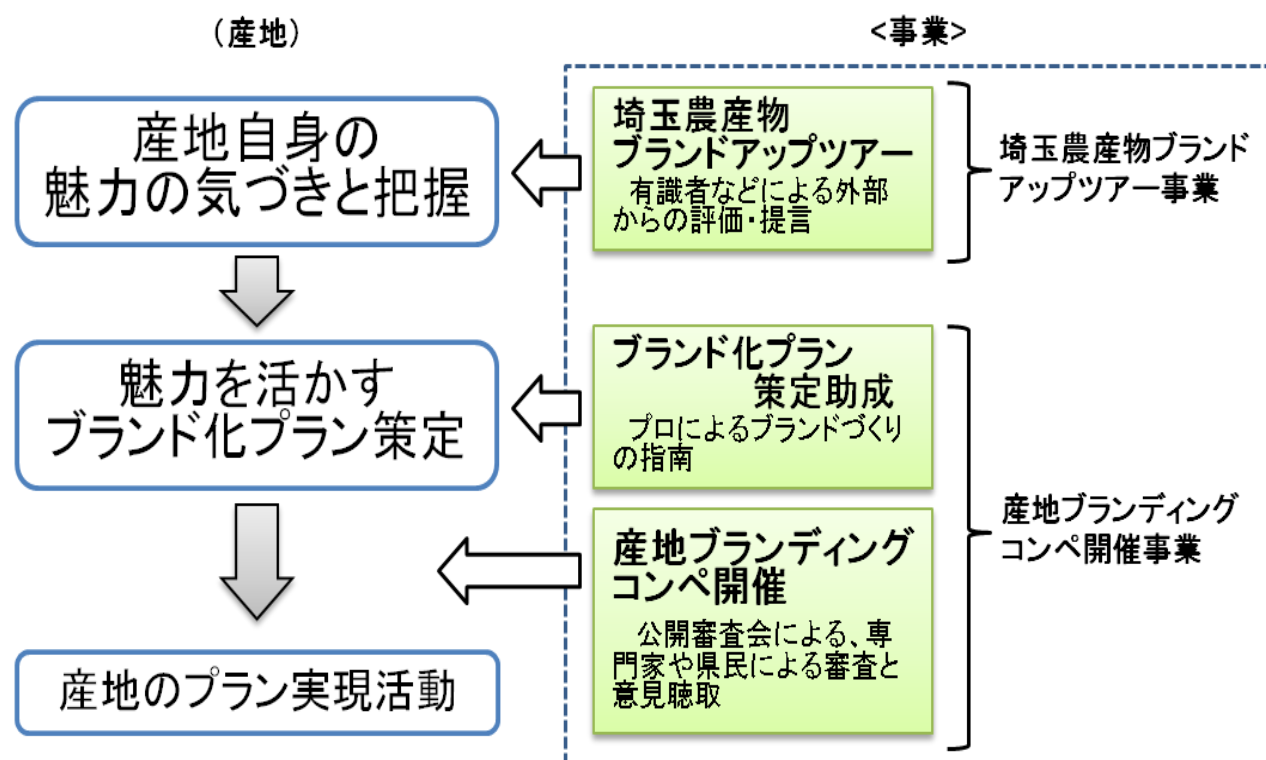
### 1 目 的

農産物のブランド化を進めるためには、産地自身が自らのブランドの特徴を十分把握して取り組むことが重要である。

産地のブランド力の向上を図るため、産地で生産される農産物の新たな魅力を産地自らが気づく活動を支援するとともに、産地のブランド化への取組を支援する。

### 2 事業内容

区 分	事業主体	内 容	予 算 額
(1) 埼玉農産物 ブランドアップ ツアー事業	県	マスコミや情報発信力の高い有識者等を対象とした産地見学ツアーを開催し、外部評価による産地の意識改革を促す。	1,000千円
(2) 産地ブランディング コンペ開催事業	県	各産地のブランド化プラン策定を支援し、策定されたプランの発表審査会を実施する。	4,400千円



3 平成25年度予算額 5,400千円

# 埼玉こだわりブランド育成支援事業

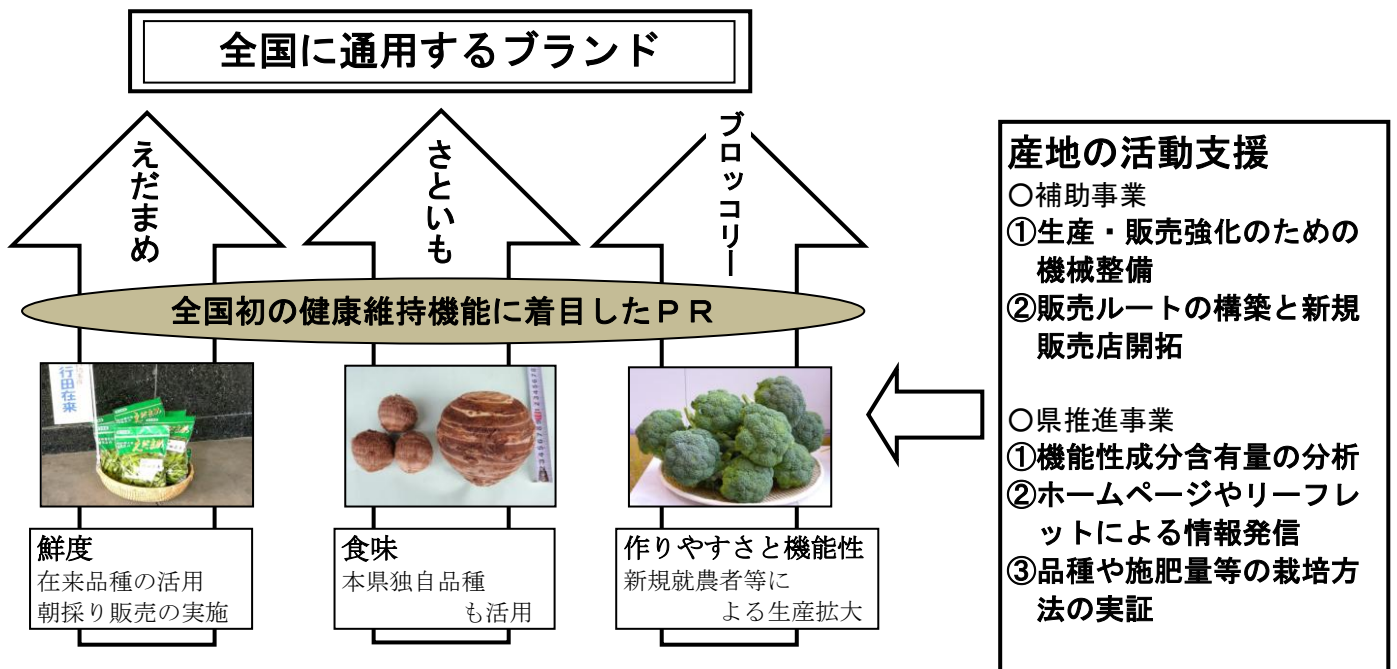
担当 生産振興課 野菜担当  
内線 4142

## 1 目的

他県産と差別化できる高品質生産を行う産地の活動を支援し、産地の生産性を向上させ、全国に通用するブランド農産物として育成を図る。

## 2 事業内容

区分	事業主体	内容	予算額
(1) こだわり産地育成補助事業	生産者集団	本県の有利性が発揮できる「えだまめ」、「さといも」、「ブロッコリー」に着目し、それぞれの産地が行う、特徴あるブランドをつくるための生産・販売拡大活動を支援する。 ・生産・販売強化のための機械整備 ・技術改善や販路開拓、販売促進活動の実践等	9,000千円
(2) 県推進事業	県	全国に先駆けて、抗酸化作用や発がん予防作用などの野菜の健康維持機能に着目したブランド化を図るため、県産野菜の機能性成分含有量を明らかにし、生産者団体や消費者等へ情報提供を行う。 また、機能性成分含有量を高める栽培方法の実証を行う。 ・県産野菜の機能性成分含有量の分析 ・機能性成分含有量とその効果の情報発信 ・機能性成分含有量を高める栽培方法の実証	3,574千円



3 平成25年度予算額 12,574千円

# 花と緑で「えがおいっぱい」埼玉創造事業

担当 生産振興課 花き・果樹・特産担当  
内線 4381

## 1 目的

花植木産業全体で連携して新たな需要を創出するため、埼玉の花植木の魅力を県民に伝え、花と緑のある暮らしを推進するとともに、担い手育成に繋がる花植木生産体制の整備について支援を行う。

## 2 事業内容

区分	事業主体	内容	予算額
(1) 花植木商品開発等支援事業	農家集団及び農業法人	新たな商品の企画、生産、販売の支援	600 千円
<b>新</b> (2) 埼玉の花植木大商談会開催支援事業	さいたまの花普及促進協議会	農業団体、生産者による大商談会の開催支援	2,700 千円
<b>新</b> (3) 「さいたまの花植木」需要拡大支援事業	県	県産花植木の利用促進キャンペーンを実施、新たな需要喚起を行う	22,211 千円

### 新たな需要喚起で花植木関連産業の活性化



新商品開発支援



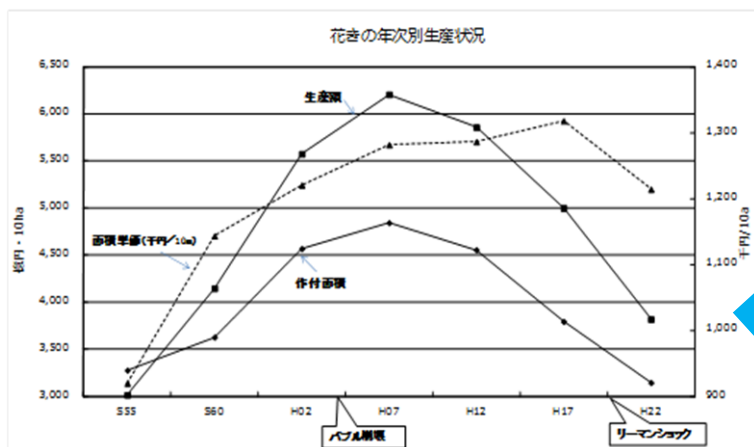
大商談会



記念日に花を



キャンペーン



今こそ花植木にテコ入れを!

花植木の需要拡大

3 平成25年度予算額

25,511千円

# 原発事故に係る農畜産物影響調査事業

担当 農産物安全課 有機・安全生産担当  
内線 4049

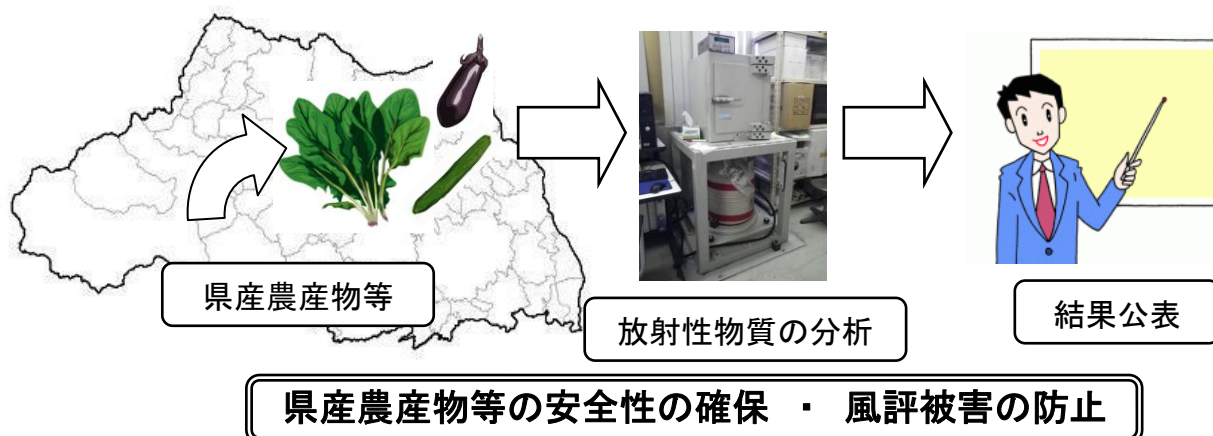
## 1 目的

東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴う放射性物質の影響が引き続き懸念されることから、食品衛生法で定められた食品中の放射性物質の基準値を超える県産農産物等が流通することのないよう、国のガイドラインに基づいた調査を実施し、安全性を確認する。

また、その情報を公表することにより、放射性物質による県産農産物の風評被害の防止を図る。

## 2 事業内容

区分	事業主体	内容
原発事故に係る農畜産物影響調査事業	県	県産農産物等の放射性物質の分析 ① 農産物 … 週1回、収穫時期を迎えた品目を調査 ② 玄米 … 年1回収穫期に調査 ③ 玄麦 … 年1回収穫期に調査 ④ 大豆・ソバ … 年1回収穫期に調査 ⑤ 林産物 … 春、秋の収穫、発生期に調査 ⑥ 茶 … 一番茶、二番茶を調査 ⑦ 淡水魚 … 主要魚種の解禁前等に調査 ⑧ 原乳 … 週1回調査 ⑨ 畜産物 … 主要産地等において調査 ⑩ 牧草等 … 収穫時期に調査 ⑪ 農用地土壌 … 年1回調査 ⑫ 堆肥等



3 平成25年度予算額 55,990千円

## 高速自動車道 I C 消毒ポイント整備事業

担当 畜産安全課 家畜衛生担当  
内線 4175

### 1 目 的

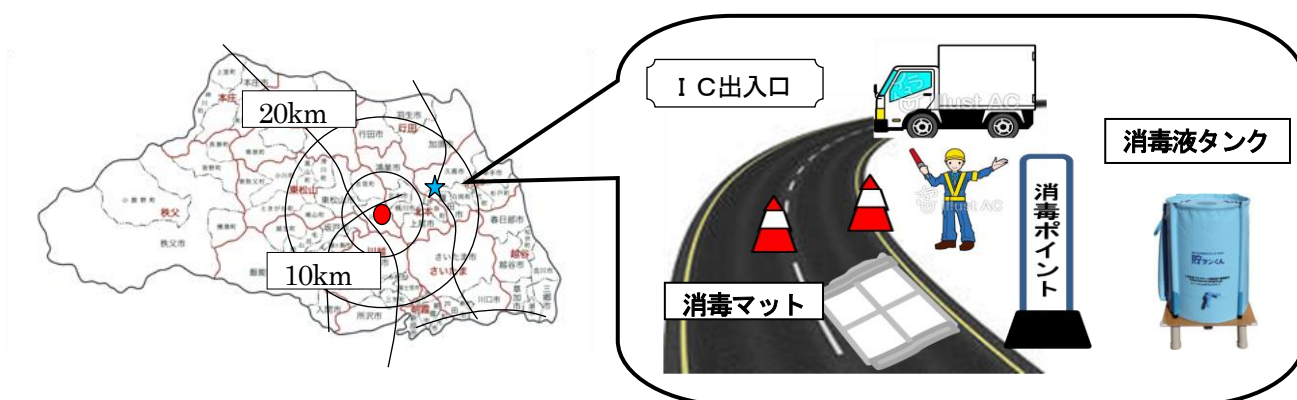
口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザなどの海外悪性伝染病が発生した場合、速やかな防疫措置により、まん延を防止することが重要である。

このため、家畜防疫予防法に基づく移動及び搬出制限区域内の高速自動車道 I C における車両消毒ポイントを設置するための資材を整備することにより、伝染病の封じ込めと拡散の防止を図り、もって畜産経営の安定に資する。

### 2 事業内容

区 分	事業主体	内 容
消毒ポイントの 資材整備対策	県	県内の高速自動車道 I C 15 か所の上下線に消毒ポイントを設置するための資材を整備する。

### 制限区域内の高速自動車道 I C への消毒ポイントの設置



速やかな防疫措置  
家畜伝染病のまん延防止

畜産経営の安定

3 平成25年度予算額 20,902千円

# 森林・林業基盤の整備

担当 森づくり課 治山・森林管理道担当

内線 4314、4316

## 1 森林管理道の整備

### (1) 目的

森林管理道を整備することにより、適切な森林整備の推進と林業経営の効率化をはじめ、山村地域の生活道や災害時の迂回路としての機能を確保する。

### (2) 事業内容

区 分	事業主体	内 容
森林管理道整備事業	県 市町村	森林管理道の開設、改良、舗装 【37路線】

(3) 平成25年度予算額 638,158千円

## 2 治山対策の推進

### (1) 目的

山崩れや土石流が発生した箇所の復旧対策や、災害の発生のおそれがある箇所の予防対策、機能の低下した保安林の整備を行うことにより、県民の安全・安心な暮らしを確保する。

### (2) 事業内容

区 分	事業主体	内 容
治山事業	県 市町村	・山腹崩壊地や荒廃溪流等に治山施設を設置 ・保安林の間伐等の実施 【36箇所】

### 治山施設の施工例



〔崩落した山〕



〔完成のイメージ〕

(3) 平成25年度予算額 497,450千円

# 森の若返りプロジェクト事業

担当 森づくり課 木材利用推進担当  
内線 4318

## 1 目 的

木材価格の低迷により伐採が行なわれないため、再生林による若い森の造成が行なわれず、森の少子高齢化が進んでいる。

森林所有者が高齢林の皆伐を行う上でネックとなっている、再生林から下刈までの経費の自己負担を軽減することで、再生林の実施による「森の若返り」を進め、「伐って・使って、植えて、育てる」森林のサイクルの適正化を図る。

## 2 事業内容

区 分	事業主体	内 容
森の若返り実行支援事業	森林組合	高齢林の皆伐後の再生林や下刈に要する経費のうち、森林所有者の負担相当額を助成する。



3 平成25年度予算額 888千円



# 森林整備加速化・林業再生事業

担当 森づくり課 間伐・森林循環担当

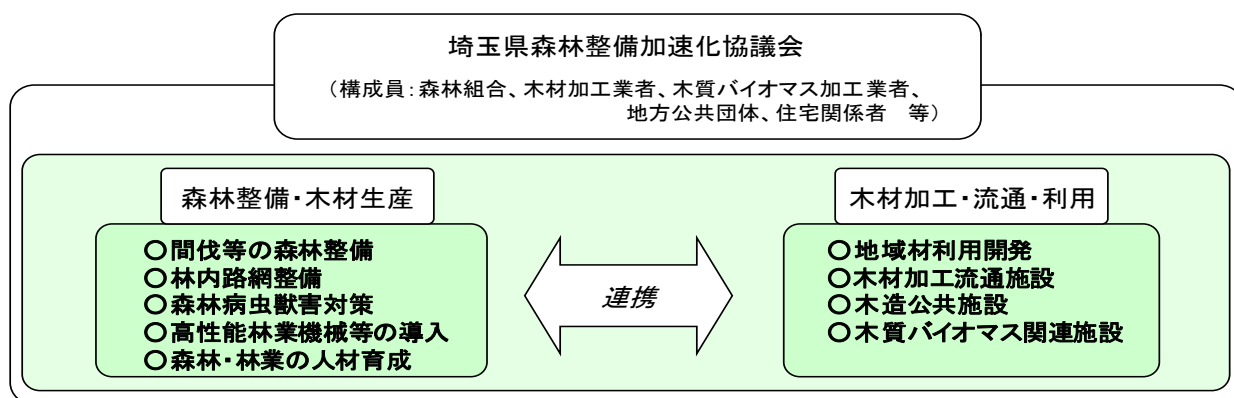
内線 4321

## 1 目 的

埼玉県森林整備加速化・林業再生基金を活用し、間伐や木造公共施設の整備など、森林整備から木材利用までの一体的な取組を支援し、森林整備の加速化と林業・木材産業の再生を図る。

## 2 事業内容

区 分	事業主体	内 容	予 算 額
(1) 森林整備等	森林組合、 農林公社等	・間伐等の森林整備 (274ha) ・森林調査 (470ha) ・林内路網整備 (45,000m) ・森林病虫獣害対策 (16.7ha)	175,165千円
(2) 高性能林業機械等の導入	素材生産業者等	・高性能林業機械の導入 (5台)	29,850千円
(3) 木材利用の推進	市町村、民間業者等	・地域材利用開発 (1件) ・木材加工流通施設整備 (4施設) ・木造公共施設等整備 (18施設) ・木質バイオマス関連施設整備 (6施設)	488,479千円
(4) 埼玉県森林整備加速化協議会運営費	埼玉県森林整備加速化協議会	・事業実施計画案の検討、関係者の連携推進、事業効果の検証など	1,000千円
(5) 検査指導費	県	・検査、指導に係る事務費	300千円
(6) 森林・林業人材育成加速化事業	森林組合等	・森林施業プランナー育成支援 (1地域)	3,650千円
(7) 埼玉県森林整備加速化・林業再生基金積立金	県	・運用益の積立	6,051千円



3 平成25年度予算額 704,495千円

# 農業集落排水の整備

担当 農村整備課 農村環境担当  
内線 4348

## 1 目的

農村地域の下水処理施設を整備することにより、農業用水の水質改善と生活環境の向上を図り、安全・安心な農産物の生産と生活しやすい地域づくりを進める。

## 2 事業内容

区 分	事業主体	内 容
彩の国ゆたかなむらづくり整備事業	市町村	農村地域の下水処理施設の整備等 【4地区】

(注) 平成24年度末までに 142地区完了（昭和58年度以降）  
平成23年度末普及率 96.5%

## 農業集落排水の整備による水質改善

改善前



生活排水の流入

改善後



放流先の水路の様子

処理場



3 平成25年度予算額 115,328千円

## 古くて新しい木のエネルギー活用事業

担当 森づくり課 木材利用推進担当  
内線 4318

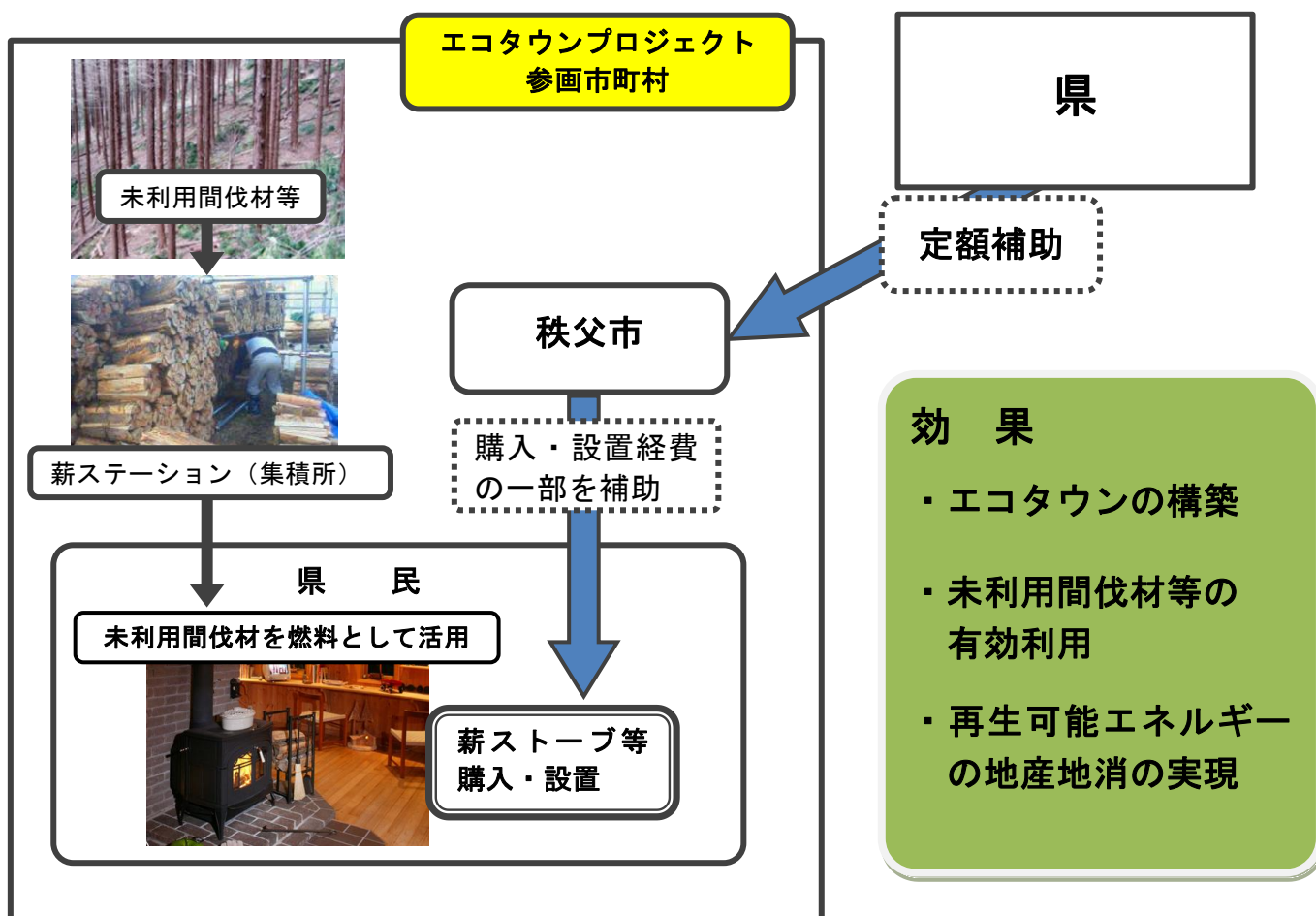
### 1 目 的

木質バイオマスは、古くから薪などとして使用されていたが、近年、再生可能な新しいエネルギーとして見直されている。

この木質バイオマスを燃料として有効に活用するため、県のエコタウンプロジェクトに参加する秩父市を対象に薪ストーブ等の導入支援を行う。

### 2 事業内容

区 分	事業主体	内 容
木のエネルギー 暖房機器整備支援 事業	秩父市	薪ストーブ等の木質燃料暖房機の購入・設置に要する経費の一部助成 (上限50,000円) 【30台/年】



3 平成25年度予算額 1,500千円

## みどりの学校ファームステップアップ支援事業

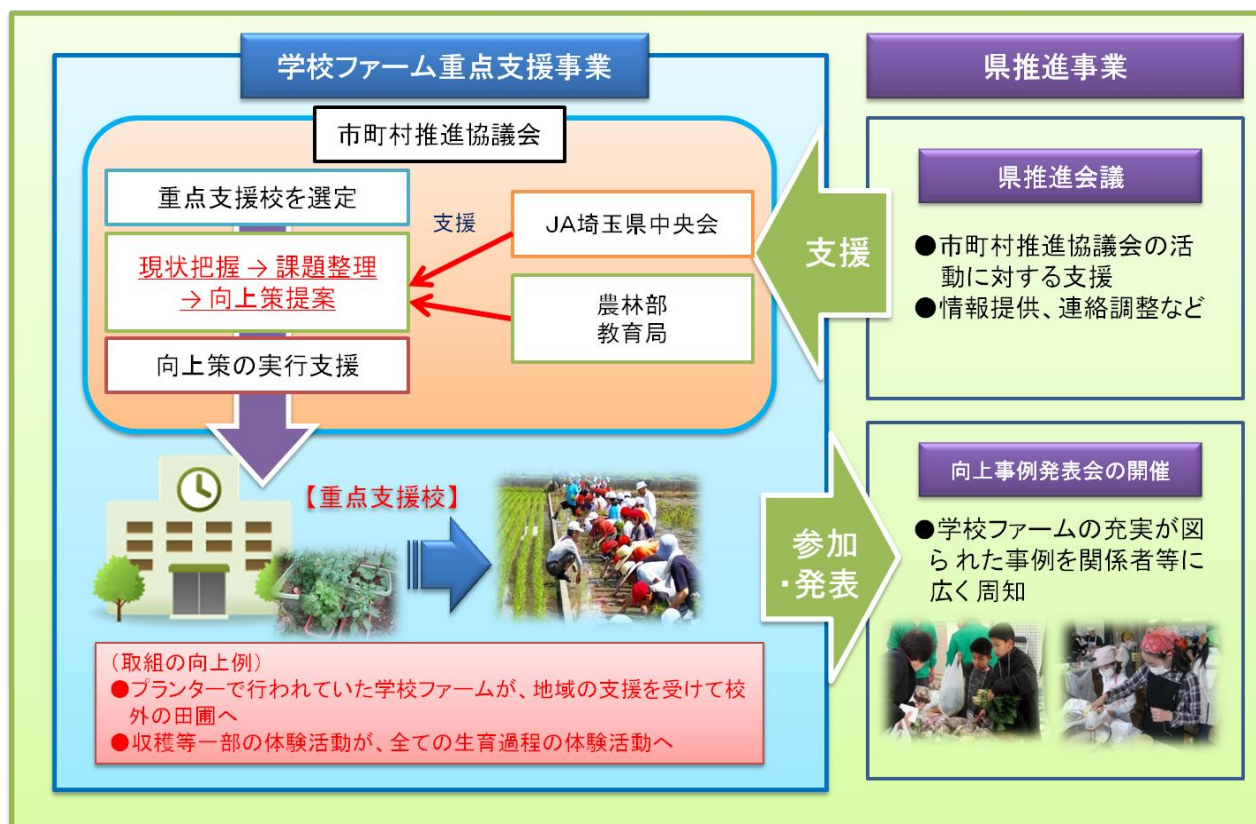
担当 農業ビジネス支援課 農地活用・企業参入支援担当  
内線 4097

### 1 目 的

学校ファームの取組効果を十分に発揮していない学校に対して、課題解決に向けた重点的な支援を行い、取組内容の充実を促すとともに、これらの取組を県内全域に広げ、「みどりの学校ファーム」の更なる充実を支援する。

### 2 事業内容

区 分	事業主体	内 容	予 算 額
(1) 学校ファーム重点支援事業	市町村推進協議会  市町村	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校ファーム重点支援校を選定及び向上検討会議の開催</li> <li>向上検討会議による向上策の提案</li> <li>向上策に基づく重点支援校への実行支援</li> </ul>	1,000 千円
(2) 県推進事業	県	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校ファーム向上事例発表会の開催</li> <li>啓発推進活動</li> </ul>	260 千円



### 3 平成25年度予算額 1,260千円

# 第37回全国育樹祭開催事業

担当 全国育樹祭課 企画担当  
内線 4365

## 1 目的

継続して森を守り育てることの大切さを普及啓発するために、平成25年11月に第37回全国育樹祭を埼玉県で開催する。

全国植樹祭において天皇皇后両陛下がお手植えされたヒノキを皇族殿下にお手入れいただくほか、式典など各種行事を行う。

## 2 事業内容

開催日：平成25年11月16日(土)、17日(日)

主 催：公益社団法人国土緑化推進機構、埼玉県

区 分	事業主体	内 容	予 算 額
(1) 開催準備費	県・実行委員会	・実行委員会の運営 ・開催広報、参加者募集	13,648千円
(2) 式典等運営費	県・実行委員会	・会場設営、式典運営 ・参加者の宿泊輸送業務	229,253千円
(3) 会場整備費	県	・お手入れ会場の整備	43,123千円
(4) 併催・記念行事開催費	実行委員会	・会場設営	14,891千円
(5) 行啓費	県	・行啓誌作成、バス借上げ	14,003千円

### お手入れ行事

H24 育樹祭(静岡県)



開催日：11月16日(土)  
会 場：金尾山県有林  
(寄居町)

招待者：約20人  
内 容：昭和34年の第10回  
全国植樹祭時に昭和  
天皇・香淳皇后両陛  
下がお手植えされた  
ヒノキを皇族殿下に  
お手入れいただく。

### 式典行事

式典会場(イメージ図)



開催日：11月17日(日)  
会 場：彩の国くまがやドーム  
(熊谷市)

参加者：約5,000人  
内 容：皇族殿下御臨席のもと、各種表彰やアトラクションを行い、みどりを守り育てることの大切さを普及啓発していく。

### 併催行事・記念行事

#### 育林交流集会



開催日：11月16日(土)  
会 場：飯能市市民会館  
※写真はH23 奈良県

#### 全国緑の少年団活動発表大会



開催日：11月17日(日)  
会 場：彩の国くまがや  
ドーム  
※写真はH24 静岡県

#### 森林・林業・環境機械展示実演会



開催日：11月17日(日)  
18日(月)  
会 場：妻沼西部工業  
団地内(熊谷市)  
※写真はH24 静岡県

## 3 平成25年度予算額

314,918千円

# 川の再生の推進 (川のまるごと再生プロジェクト (農業用水))

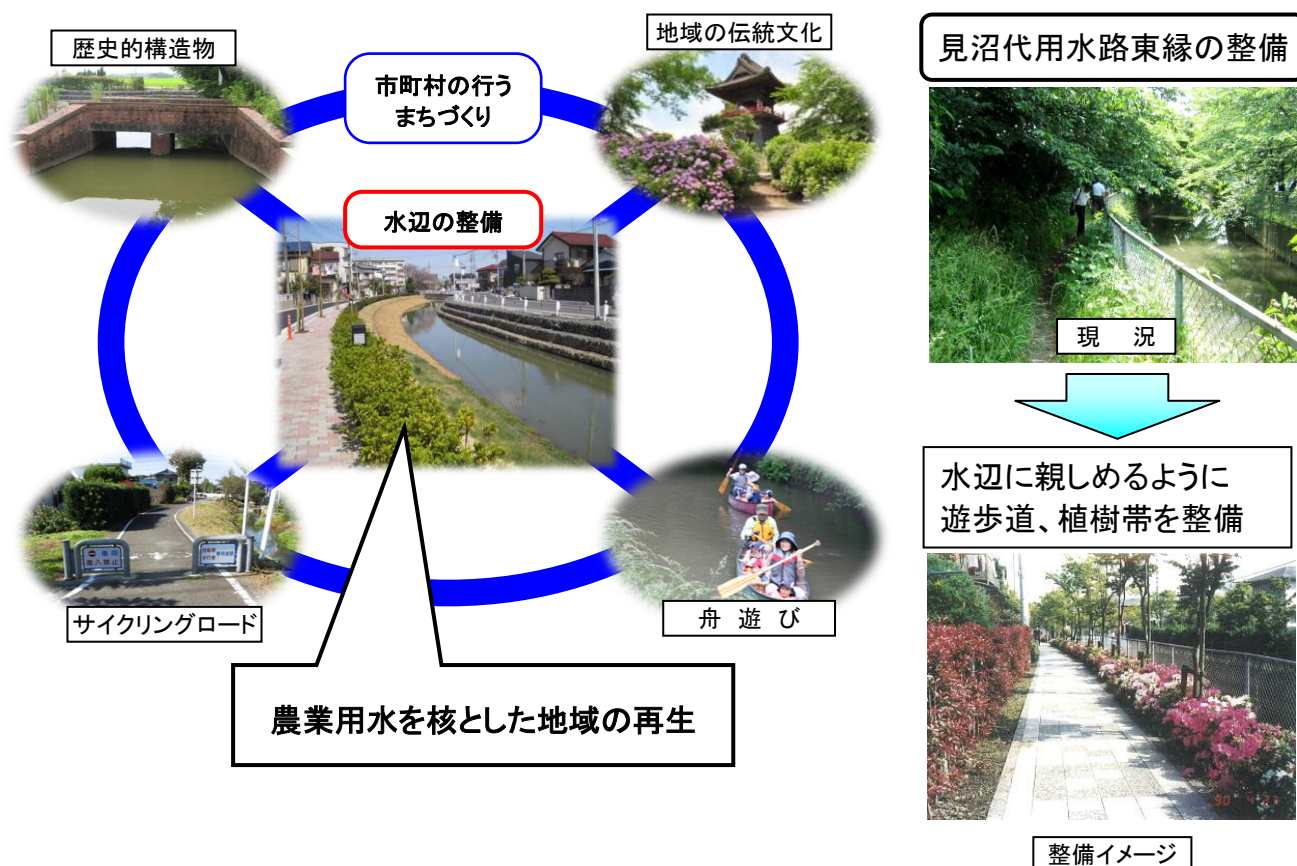
担当 農村整備課 農村環境担当  
内線 4350

## 1 目的

県民誰もが川に愛着を持ち、ふるさとを実感できる「川の再生」の実現に向け、地域の特性に応じたテーマのもと、県・市町村・地域が協働で農業用水を核とした地域の再生に取り組む。

## 2 事業内容

区 分	事業主体	内 容
川のまるごと再生プロジェクト (農業用水) 推進費	県 市町村	生態系に配慮した護岸、親水護岸、遊歩道等の整備  【7箇所】



3 平成25年度予算額 766,850千円

# 水と緑のサイクリングロード事業

担当 農村整備課 水利調整・施設管理担当  
内線 4341

## 1 目的

農業用水路沿いの既存の自転車・歩行者道について、「ぐるっと埼玉サイクルネットワーク構想」と連携し整備補修を実施することにより、利用者の安全性及び利便性を確保する。

## 2 事業内容

区分	事業主体	内容
既存サイクリングロードの補修	県	見沼代用水路沿いの緑のヘルシーロード、水と緑のふれあいロードの補修を行い、利用者の通行環境を整備する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・舗装の補修</li> <li>・案内看板の補修及び設置</li> <li>・雑草抑制対策の実施</li> </ul>

### 緑のヘルシーロード

行田市（利根大堰）～川口市（グリーンセンター） 56.5 km

### 水と緑のふれあいロード

加須市（旧騎西町）～宮代町、久喜市（旧菖蒲町）～春日部市 42 km

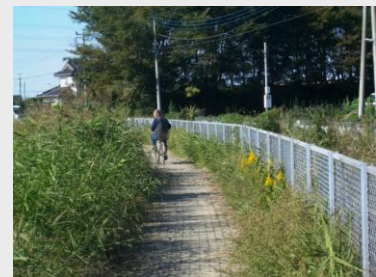
### 既存サイクリングロードの現状



路面のゆがみ・段差



表示の劣化  
（「とまれ」が見えにくい）



雑草の繁茂

### 整備補修

3 平成25年度予算額 107,000千円